



広報やすぎ

# とげなかね

©安来市



- 市議会12月定例会市長所信
- やすぎボランティア団体ネットワーク紹介
- 新着図書紹介
- ジョーホーの森
- 市政トピックス
- たうんとぴつくす
- 昔さんぽ

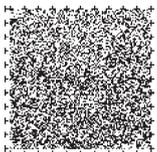
## 上山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議の挑戦



「安来市農林業祭」

安来市の人口と世帯数 平成25年11月30日現在

男19,695人 (-20) 女21,571人 (-25) 合計41,266人 (-45)  
14,115世帯 (-3)



●高齢者・視覚障がい者向け読上げ装置専用のSPコードを、全ページに掲載。コード横の切り込みは、その位置を示します。

2014. **1** 月号

平成25年12月20日発行 Vol.111

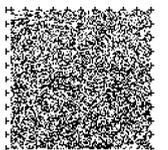
■ 上山佐地区中山間地域コミュニティ 再生会議の挑戦	2	■ 新着図書紹介	15
■ 市議会12月定例会市長所信	10	■ 「ジョーホーの森」 各種お知らせ	16
■ 市政トピックス	12	■ 昔さんぼ・やすぎ再発見（裏表紙）	
■ ボランティア団体ネットワーク紹介	13	● 「市民カレンダー」（別刷り）	
■ たうんとびっくす	14	1月の行事・日曜日・祝日診療 など	

今月の表紙

「アイス作り」

専門家に指導を受けながらアイス作りに挑戦。継ぎ手に狙いを定めて慎重にたたきます。“コン、コン”上手くはまった手応えに思わず笑みがこぼれます。

- ・撮影日 11月24日
- ・撮影場所 伯太町東母里（農林業祭）



# 地域をつなげて 未来をひらく

## 上山佐地区 中山間地域コミュニティ 再生会議の挑戦

高齢化や人口減少の進行により、特に中山間地域では、地域コミュニティを維持することが困難となりつつあります。

こうした中、中山間地域を元気にしようと、住民主体の活動が市内各地で行われています。上山佐地区では平成23年9月、島根県の「中山間地域コミュニティ再生支援事業」の指定を受け、地域の在り方や仕組みづくりを模索する「上山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議」（加藤英俊座長）を設立。住民主導による行政と連携した活動が取り組まれています。

ここでは、設立から3年目を迎えた上山佐地区の取り組みについて紹介します。



上山佐の名所「天馬山」頂上から臨む上山佐地区の集落。  
(左下の建物は山佐小学校)



### 今は良くても10年後は

上山佐地区は、市の中心部から南へ約20<sup>キ</sup>（車で約30分）進んだ、広瀬町山佐地区（下山佐地区・上山佐地区・奥田原地区）の中央に位置する中山間地域。7つの集落（自治会）で構成され、人口は、平成23年7月時点で461人（140世帯）。65歳以上の人口割合（高齢化率）は、35・4割となっています。

中山間地域における過疎化と高齢化の潮流は、上山佐地区も例外ではなく、今後も連続的に見込まれています。このままの状態では推移すると、平成37年（2025年）に人口は329人、高齢化率は49・4割となることが推測さ

れています。実に地区住民の2人に一人が65歳以上となる

もので、地域を支える担い手の不足、（買い物・通院などの）移動困難者の増加、農地の耕作放棄・山林の荒廃、空き家の増加などが懸念され、近い将来、生活の質の低下や地域コミュニティが維持できないといった、深刻な事態に直面する恐れがあります。

「今は良くても10年後は…」こうした将来への不安に対し、「何とかしなければ」という思いが地域に芽生えてきました」と話すのは、現在、上山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議で座長を務める加藤英俊さん。そして、地域の心配を解消すべく、上山佐地区に新たな動きが生まれまし

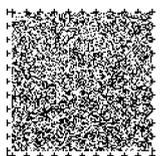
た。

#### ●中山間地域とは？

平野の外縁（周辺）部から山間地に至る、まとまった平坦な耕地が少ない地域のこと。

#### ●地域コミュニティとは？

地域をより良くするために活動する、住民同士のつながりや集まりのこと。



※1…中山間地域コミュニティ再生支援事業…集落を越えた公民館等の範囲で、新たに地域運営の仕組みづくりを進める地域を部局連携しながら市町村とともにサポートする市町村支援事業。

## 再生会議結成

平成23年度に島根県が「中山間地域コミュニティ再生支援事業（※1）」を創設しました。

市では、先に地区内で「何かしなくては」という意識が芽生え始めていることに加え、今後、安来市で予想される過疎高齢化の推移をすでに先行して示しており、ほかの地区への波及効果が期待できる地区、ということから上山佐地区を推薦しました。これにより、同地区が指定され、事業を推進する組織として「上山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議」（以下「再生会議」）が結成。その委員は、交流センターの運営協議会メンバーを中心に組織されています。

### ●主な活動

- ▽平成23年度
  - ・委員によるワークショップで地域の課題や特徴などを抽出した地域マップを作成。
  - ・文化祭での地域マップや集落ごとの人口推移および、今後の

推計表を掲示。

- ・若者会によるフェイスブック講習会など。

▽平成24年度

- ・上山佐名所めぐり。
- ・中学生以上および盆に帰省された地区出身者を対象としたアンケート調査。
- ・文化祭でのアンケート集計結果の掲示など。

▽平成25年度

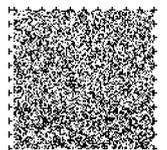
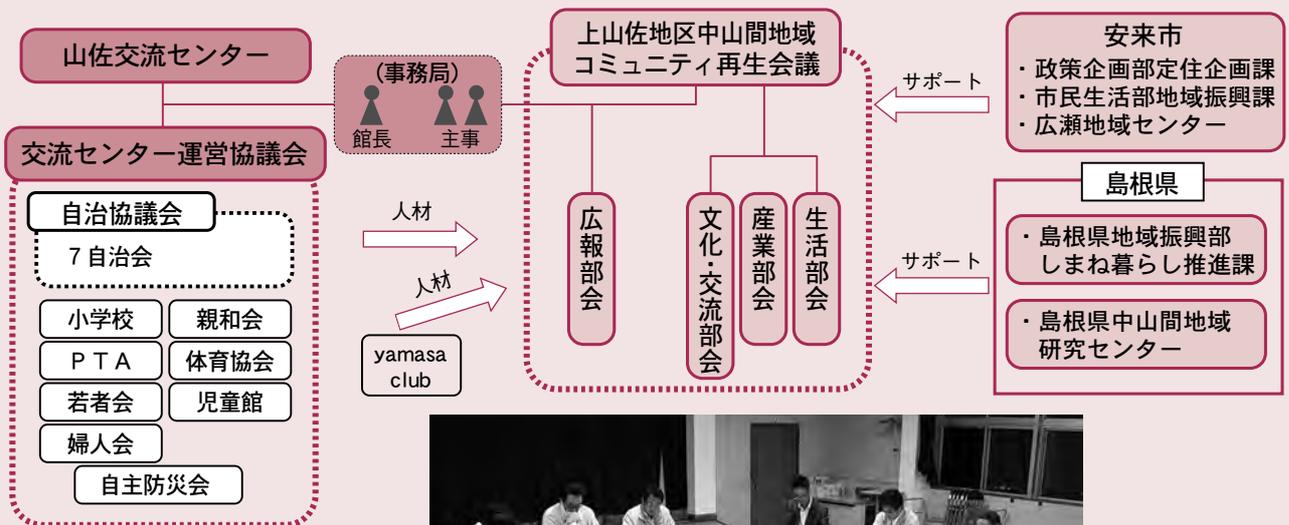
- ・3つの分科会を設置（「生活」「産業」「文化・交流」）。
- ・第2回上山佐名所めぐり
- ・上山佐ふるさとカレンダーの制作。

- ・買い物イベント「交流センター」で山佐マーケットが1日限定で復活」など。

## 本物の自立を目指す

島根県では、平成24年度に策定した中山間地域活性化計画により、「中山間地域対策プロジェクトチーム」を設置し、地域指定を行い対策を進めています。上山佐地区は、本年6月にその重点支援地区に選定されました。

### 山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議の組織図





▲名所めぐり（天馬山の大割石）



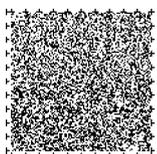
▲地区の魅力を写真で伝えるとともに地区の行事日を記載した「上山佐ふるさとカレンダー」。



◀上山佐地区のイメージキャラクター「てんばごん」。



多くの来場者でにぎわった、買い物イベント「山佐マーケット」（9月23日、会場は山佐交流センター）。



た。引き続き、アドバイスを受けながら活動を進めていくことになります。

しかし、県や市からの財政支援を一切受けていないこともこの地区での取り組みの特徴で、今後も極力補助金に頼らずに事業を進めていく方針です。

## 広がる活動の輪

再生会議だけの活動にとどまらず、他団体との連携も大きな柱となっています。今年の地区体育祭（体育協会主催）では、自主防災会の「消火訓練」、再生会議が企画した「参加者全員での集合写真撮影」を併せて行いました。人口が減少していけば、一人が何役も地区の役を引き受けなくてはならず、会合で集まってもメンバーは同じ顔ぶ

れ、といったこともたびたびある中、そうしたことへの軽減対策も体育祭での取り組みを通じて模索しています。

また、再生会議の活動に呼応する形で、20代の若者会、30〜40代の子育て世代の活動が活発になり、婦人会組織は発展的改編が行われました。

「若者会」は、出店などで各種イベントを盛り上げたり、主催したフェイスブック講習会により、その利用者が増えたりし

たことで、世代間の交流の促進が図られています。

また、30〜40代の男性が中心となり「yamasa club（ヤマサクラブ）」という団体が設立されました。（その内容は6ページで紹介）

さらに、会員減少に悩む婦人会は、規約や「会員資格」などという規定のない緩やかな組織「ひまわりの会」として改編され、結果的に多くの参加者で活動しています。

「山佐夢灯籠」。盆踊り大会の会場周辺を、手づくり竹灯籠と、子どもが夢を描いたあんどんで演出し、伝統行事に新たな魅力を加えました。



山佐夢灯籠

思い付いたら楽しく行動！  
みんなで「上山佐」を盛り上げたい

yamasa club (ヤマサクラブ)



「遊びの感覚で、上山佐のために何かできないか」。こうした思いを持った人たちが集まり、平成24年3月に発足した「yamasa club(以下『ヤマサクラブ』)」。

上山佐地区の30〜40歳代の男性が中心となり、従来の枠組みを越えた自発的で善意的な活動が、地域を盛り上げる追い風となっています。

「人口の少ない中山間地域では、一人が地域のさまざまな会の役員を重複することも多く、また、『〇〇会』と名が付ければ『やらなければならぬ』という縛りも出てきます。ヤマサクラブは、こうした型にとらわれず、『こんなことをしてみたら楽しいのではないか?』といった思い付きに、賛同・協力できる人が集まり、楽しく実行していきこうというものです。リーダーを務める岡田秀明さんは、こう紹介してくれました。

これまで、地域の盆踊り大会を、竹灯籠や子どもが夢を描いたあんどんなどで演出した「山佐夢灯籠」や、山佐ダムで音楽や天体観測などを融合させ、800人余りの参加者を呼び込んだ「山奥のたのしい課外授業」など、楽しい催しを次々と企画。活動資金は、クラブのロゴをあしらったステッカーやT

シャツを製作・販売して捻出するなど、助成金に頼らない運営を目指しています。岡田さんは、「できる範囲で、できることをするのが大切。地域を側面から盛り上げていきたい」と話します。

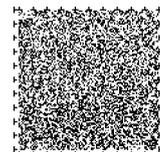
世代や地域を越え、「共感できるイベントがあれば一緒にやろう」。メンバーを限定することなく、協力をテームごとに募り交流人口を拡大していこうとするやり方は、地域の活性化を図る新たな手法として期待されています。



リーダーの岡田さん。



写真中央は、4月に開催された「山奥のたのしい課外授業」の様子(同左は、手づくりのイベントチラシ)。同右は「クリスマス会」の様子。活動は、次世代交流の場にもなっています。





①かやぶき屋根の補修作業 ②改修中の古民家 ③床張りも自分たちで ④フェイスブックなどを見て作業に集まった人など ⑤周辺で採れる山の幸



安来からはるか離れた都会から、上山佐に移り住むことを決めた夫婦がいます。山奥に残っていた古民家への移住を目指して改修に取り組む的川英嗣さんと佳奈子さん。お二人にその経緯や上山佐地区の魅力について伺いました。

## 古民家再生 上山佐に移住をする夫婦 的川 英嗣さん・佳奈子さん

### 都会から上山佐に

奈良県生駒市に住んでいた的川さん夫婦は、自給をしながら自然に親しむ昔ながらの生活がしたいと、東日本大震災を機に実践できる場所を探索。平成23

年秋、知人から上山佐にある古民家を紹介されました。「山や田畑、小川もあって何よりかやぶき屋根が魅力。すぐにお世話になろうと決めました。ところが、後日訪れると母屋裏の屋根はない、床は抜けるなど大改修

が必要で、これでは無理だと思ってお断りを入れると知人の落胆振りが凄くてですね。それで考え直して、やることを決心したんですよ」と振り返ります。

米子市に家を借りて翌年春から週末を中心に始まった改修は、地元の人やソーシヤルメディアでの呼び掛けで集まった人など、的川さんの夢に賛同する多くの人が参加しています。

「仲間と家を作るのは楽しい。昔の家の仕組みや先人の知恵が分かって勉強にもなります。多くの人とこの経験を共有したいですね」と話します。

### 誰もが集まる場所に

完成はまだ先ですが、平成26年には古民家の近くに転居し、改修をしながら新生活を始める



予定。上山佐地区の印象を「物腰の柔らかい人が多い。顔見知りになると親身になってくれて、差し入れをもらったり、

草刈りを手伝ってもらったりと、本当に感謝しています」と話す一方、ここでの生活に不安もあると言います。

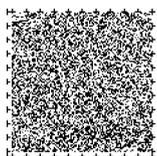
「地区の少子高齢化を実感していて、10年後・20年後に人が来てくれるような魅力ある場所であるのかどうか不安です」。

それでも移住を決めたのは、上山佐に魅力を感じたから。

「私たちにとって、ここは何でもできる理想の地。いつかはゲストハウスを開き、農作物の栽培や演奏会・アート作品展など、私たちの生活を見て体験していただける場にしたいですね。改修は材料をそろえながら徐々に行うつもりです。不要な廃材などあれば、ぜひお譲りください」と笑みを浮かべました。

### 的川さん連絡先

TEL 080・4164・2958





再生会議結成当時の上山佐地区の活動は、かなりゆっくりとしたペースで進んでいました。しかし、今年に入り、「生活」「産業」「文化・交流」の3つの分科会が結成されてからは、目的が明確化されたためか、それぞれの会の活動が非常に活発になっていったように思います。

例えば、まず生活部会が買い物弱者のための「山佐マーケット」を企画された訳ですが、最初は協力団体である生協しまねの注文方法を学ぼうと、勉強会を開催するにしたら、それを聞いた産業部会の人々が、合わせて地元野菜の即売会をしたいと申し入れをしてきた。さらに文化・交流部会からは、自主制作したカレンダーも一緒に売りたいという話になって、最初は単に一つの部の一つの行事にしか過ぎなかったのに、最終的には地区を挙げて開催する大きなイベントに拡大されていったこ



島根県しまね暮らし推進課  
(安来市担当)  
企画員 荒木俊輔さん

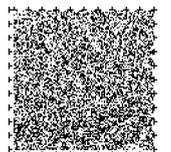
## 「ほかにはない、世代間の共鳴が強み」

とは大変興味深いものでした。

上山佐地区が、ほかの地区と大きく違うのは、いろいろな世代がそれぞれ活動に取り組んでいるという点です。子育て世代は「yamasa club(ヤマサクラブ)」でイベントなどを開催していますし、奥様方で作る「ひまわり会」は、ヒマワリの種を配って花いっぱい運動を呼び掛けている。また20代は「若者会」として、イベントでブースを出したりしています。各世代の活動がほかの世代の活動にもそれぞれ絡み合っていて、そういった様子はほかの地区ではなかなか

見られない動きです。

今後の活動には、各会で共通のスローガンを設定することが重要になってくるのではないのでしょうか。各世代でキーマンがいると全体がまとまりやすいのですが、徐々にそういった方が育っているというのが上山佐地区の強みであると思います。今、上山佐地区で行われている取り組みが、ほかの安来市内の中山間集落のモデルとなり、波及的に広がっていくことを期待しています。



## インタビュー

### ～上山佐地区の取り組みについて聞く～

結成当初は、活動も手探り状態で、地域課題の抽出のための活動が主でした。

2年目は、今後の活動に生かすためのアンケート調査実施や「少し動こう」ということで、名所巡りを実施したり、地区の皆さんに活動をPRしたりしました。こうした中で、「yamasa club（ヤマサクラブ）」が自動的に活動を始めたことは、地域に動きが出てきたんだなど実感が沸きました。

3年目に入り、これまでは、会議を全体で行っていたものを、3つの分科会を取り入れたところ、より具体的な取り組みとなり、活動に方向性が出てきたように思います。

そして、これまでの活動の集大成が9月23日に行った「山佐マーケット」でした。お陰様で盛況のうちに終わることができ、特に高齢者の皆さんには大変喜んでもらえました。地域のコミュニケーションが必要であり、人が集まる場所は大切であると思いました。

こうした成功事例を、次につ

なげていくことはもちろんのこと、今後、上山佐地区が自立して活性化していくためにも、先を見据えた明確なビジョンを作っていくと考えています。

また、活動する上で、「何をやるのか」ではなく「何のためにするのか」ということを心掛けていきます。さらに、きめ細かな情報発信が大切です。上山佐はこうなっているんだということとを内外に知ってもらおうことで、交流・活性化が図られるのではないかと思います。イベントなどの人が集まる場所や、ふろさとカレンダーなどを活用す

#### 「ビジョンを持って、さらなる活動へ」

るなど、さまざまな機会をとらえていきたいと思っています。

最終的には、地区内外の人に「上山佐っていいなあ」と思ってもらえるようにやっていきたいですね。そのためにも、ここに住む人たちが生きがいを持って、安心して生活できるように、基盤を作らないといけないと思います。

地区のほかの団体とも連携してもらいながら、交流センターを核とした取り組みとしていきたいと考えています。

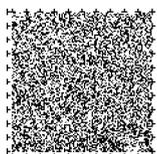


上山佐地区中山間地域  
コミュニティ再生会議  
座長 加藤 英俊さん

中山間地域における過疎高齢化は、「誇りの空洞化」によってもたらされると言われています。

「誇りの空洞化」とは、地域を構成する住民が、そこに住み続ける意味や誇りを見失いつつあることで、言い換えれば、地域を再生するためには「誇り」を持つことが必要不可欠であることを言い表しています。

今回取材した上山佐地区は、確かに人口数は多い地区ではありませんが、住んでいる人たちの地元に対する熱意は、その人口数をカバーするに余りあるものでした。押し寄せる少子高齢化の波は避けずには通れないものですが、この波に真っ向から立ち向かうとする上山佐地区の皆さんの姿勢は、市にとっても大きな誇りであると感じました。





# 安来市議会 12月定例会

市長所信(要旨)

12月2日、市議会12月定例会の開  
会にあたり、近藤市長が表明した市  
政運営に対する所信の要旨につい  
てお知らせします。

※近藤市長が療養中のため、新田副  
市長(市長職務代理者)が代読しま  
した。

## 市議会定例会への欠席について

病気療養のため、今議会はや  
むを得ず欠席との判断に至り、  
副市長を職務代理者として臨む  
こととしました。深くお詫び申  
上げます。

## 切川地区開発事業および 新安来庁舎建設

本年1月、切川地区に新たに、  
市民会館と給食センターを整備  
する方針を説明しました。それ  
が将来の安来市にとって必要で  
あり、今後の市政の礎となるも  
のと確信し決断したところで  
す。その後、地元の皆様並びに  
市議会にもご理解いただき、切  
川地区開発事業全体が、いよいよ  
実施段階に移行する時期を迎

えることとなりましたことに感  
謝申し上げます。

新安来庁舎建設については、  
現市民会館の移設建て替えによ  
る跡地利用や、商工会議所から  
用地の提供も含め全面的な協力  
が得られたことなどにより、こ  
れまでのご指摘も踏まえ、計画  
の見直しが必要となりました。  
今議会の全員協議会においてご  
説明させていただきます。

市民会館建設事業について  
は、6月の基本構想の取りまと  
め以降、5回の建設検討委員会、  
3回の市民ワークショップ等の  
意見や提言を踏まえ、基本計画  
を策定しているところです。

併せて、プロポーザル方式に  
よる設計業者も決定し、基本設  
計の運びとなりました。

安来市民会館(仮称)基本設計  
プロポーザル公開プレゼンテー  
ションの様子。(10月17日)



今後、市民の皆様に親しま  
れる市民会館の実現に向けて進  
めてまいります。

給食センター建設事業につい  
ては、4回の建設検討委員会を  
開催し、基本計画の策定を進め  
ているところです。

今後の本市の財政状況は、決  
して安泰とは考えておりませ  
んが、これら一連の事業を推進す  
るのは今においてほかにないと  
考えております。

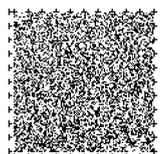
自ら先頭に立って、事業の推  
進に全力を傾注してまいります  
です。



第一中学校新校舎(正面玄関)

## 第一中学校の校舎改築事業

11月8日、新校舎に使用する  
瓦に、一中の生徒たちが「未来  
の自分たちへ向けたメッセージ」  
を書き入れ、校舎正面玄関  
の屋根に葺き、11月末に完成し  
たところです。来年1月7日に  
は校舎のしゅん工式を行い、3  
学期からは、新校舎での授業を  
開始することとしております。  
一中新校舎の完成により、市  
内すべての小・中学校で校舎の  
耐震化が図られることになりま  
す。今後も学校教育環境整備の  
充実に努めてまいります。





### 原子力防災

これまで、島根原子力発電所が行う計画等に対する事前了解など、原発の再稼動につながる重要な判断をする場合には、安来、出雲、雲南の周辺自治体3市の意見を反映するよう、島根県に要望してまいりました。

その結果、10月29日に原発に関する重要な問題で県が判断する際は、3市から意見聴取することを明記した覚書を島根県と取り交わすことができました。

また11月6日には、原発における安全対策上重要な事項について、周辺自治体の意向が反映される制度を設けるよう経済産業大臣、資源エネルギー庁長官



▲島根原発の周辺自治体の3市共同で、国に対し原発の安全対策に関する要望活動を実施。(11月6日)

に対して要望したところです。

そのような中、11月21日、中国電力は、島根原発2号機の再稼動を目指し、立地自治体の松江市と島根県に対して、新規制基準の適合性確認申請の事前了解の申し入れを行い、同日、安来市に対しても申請内容の説明がありました。

引き続き出雲、雲南、米子、境港の周辺4市と連携しながら、市民の安心安全のために、慎重に対応したいと考えております。

また、11月5日と10日に、島根原発から30<sup>キ</sup>圏内の立地自治体と周辺自治体の2県6市の合同で、島根原発の事故を想定した原子力防災訓練を実施し、事故が発生した際の関係機関との通信連絡、住民広報など初動対応の確認や、住民避難訓練など



▲原子力防災訓練（住民避難訓練）の様子。

を行いました。今後も訓練を重ね、3月に策定した「原子力災害時における広域避難計画」の実効性を高めていきます。

### 11月3日開催

### なかうみマラソン全国大会

第9回を迎えた本大会は、全国各地から4967名の選手をお迎えし、また、姉妹都市交流を行っている韓国の密陽市(ミヤン)からもご参加いただき、山陰最大のマラソンの祭典として開催することができました。

当日は、途中からあいにくの雨となりましたが、参加された皆様には、コースから遠望する中海の美しい景色を存分に堪能していただいたものと思います。

大会後に寄せられた多くのお手紙には、市民の皆様による心温かい声援やスタッフの心遣いに対するお礼と感謝の言葉が綴られており、「おもてなしの心」を基本とした本大会を通して、人情味のある安来の魅力が全国に発信できたものと考えます。

開催にあたり、ご尽力いただきました大会関係者並びにボラ



ンティアとして大会を支えていただきましたスタッフの皆様にご心からお礼申し上げます。

### 提案した諸議案

議決案件16件、報告案件1件、同意案件2件です。

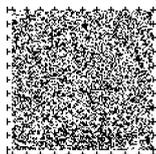
平成25年度安来市一般会計補正予算は、総額1億4900万円を計上し、補正後の予算規模は254億9100万円としております。

▽主な内容：下ノ原2号線道路改良事業5000万円、安来庁舎建設事業1810万円、汐彩住宅団地促進費1000万円余など、併せて人事異動に伴う人件費の補正をそれぞれ計上。

### 問い合わせ

定住企画課

TEL 23・3059



# 市政トピックス



## ポプラ安来市役所前店に 特産品コーナーを開設



11月28日にオープンしたコンビニエンスストアのポプラ安来市役所前店に、市の特産品コーナー「安来のおもてなし」を設置（常設）しました。

市と株式会社ポプラとの災害時支援協定締結をきっかけとした連携事業で、コーナーには、お菓子や加工品、あらエッサクんのグッズなど地元産品22品を並べています。（商品は随時更新されます）

地域の経済・雇用創出などに貢献

## 「ふるさと企業大賞」受賞 日段株式会社



近藤市長に受賞を報告する、日段株式会社の山川正人社長（写真中央）、同社安来工場の景山英樹工場長（同左）。

段ボールケースの製造・販売を手掛ける日段株式会社（本社鳥取市）が、財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）主催の平成25年度「ふるさと企業大賞（総務大臣賞）」を受賞しました。

ふるさと融資を活用して、地域の経済や雇用、イメージアップに貢献した事業者に贈られる賞で、同社は、

平成21年に同融資（貸付団体は安来市）を活用して、安来インター工業団地に基幹工場を整備。従業員14人の地元雇用や、平成23年8月に市と災害時支援協定を締結して、災害時における避難所用段ボール製間仕切り供給協力による地域防災力向上に貢献している点などが評価されました。

健康な歯をいつまでも

## 8020達成者、今年度は63人

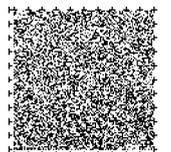


▲表彰式に出席した8020達成者の皆さん。

充実した食生活に欠かせない歯の大切さ呼び掛けるため、市では80歳で自分の歯を20本以上保っている市民を「8020（ハチマルニイマル）達成者」として毎年表彰しています。

今年度の達成者は63人。11月26日に安来中央交流センターで行った表彰式には22人が出席し、表彰状と記念品を受け取りました。

自分の歯が20本以上あれば、ほとんどの食べ物を噛みくだくことができます。心と体の健康を保ち、豊かな人生を送るためにも、日ごろから歯の手入れを心掛け、歯の健康を保ちましょう。





# やすぎ ボランティア団体 ネットワーク

皆さんに利活用していただくため、  
ネットワークに加盟する団体をシリーズ  
で紹介しています。

●問い合わせ  
やすぎボランティア団体ネットワーク  
事務局（市民参画課内） TEL 23-3067

## 加盟団体を紹介します v.9

FILE 17

笑顔の子育てを応援

### キラ☆キッズ

安来の子どもたちや子育て中の人たちが、キラキラと輝く笑顔で毎日をお過ごせるようにと、人と人とのつながりを大事に活動しています。



●主な活動内容  
▽子育て講演会の開催  
子育てに対する考え方や子どもや家族への接し方などについて、「まずは親が学んでいこう!」と開催しています。

▽親学の実施

小学校や幼稚園に向向き、保護者の皆さんとゲームを交えて楽しみながら話し合い、親としての役割などの気づきを促します。

▽キラ☆カフェの開催

毎月第1木曜日10時から社日交流センターで開催する親同士のお話会。仕事や子育てに頑張っている親が、ほっと一息つけるような場所になるよう心掛けています。

●一言ごあいさつ

皆さんも一緒に楽しく子育てしませんか。家族のサポートのおかげで楽しく活動しています。

●問い合わせ

代表 山根久美子  
TEL 090・4578・8767

FILE 18

青少年の心をはぐくむ  
NPO法人

### 青少年サポートの会

悩みや孤独感を持つ青少年と保護者の人が、一人でも少なくなる地域社会づくりを目指し、活動しています。

●主な活動内容

▽相談事業・学習支援

にぎわい交流館を拠点に、平日は青少年や保護者からの相談に応じ、心理的負担の軽減を図ることや、必要に応じて公的窓口への同行支援などを実施しており、土曜日は相談者間のつながりの場

「土曜の寺子屋」を開催

しています。また、受験・復学のための学力支援なども行っています。

▽森の見た夢コンテスト

安来産材のキャンペーンに、夢を描いてもらう



森の見た夢コンテスト表彰式

▽就職支援活動

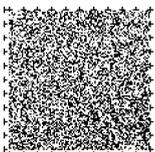
ハローワークとの連携および、市内事業所の協力のもと、就職希望の青少年を対象に職場体験を実施。

●一言ごあいさつ

「土曜の寺子屋」で話し相手になっていただいている人を募集しています。

●問い合わせ

青少年サポート  
の会事務局  
TEL 22・0850



# だうん とびっくす



## 交流と親交を流

安来市の姉妹都市韓国・密陽市から、<sup>ミリアン</sup>守山初等学校 5・6年生の児童13人が11月19日から4日間、姉妹校の社日小学校を訪問し、ホームステイや授業体験などを通じて同校の児童らと交流しました。

両校は、平成17年に姉妹校となり、毎年児童が相互に訪問して友好を深めています。守山初等学校の児童は、授業や合唱などを社日小学校の児童と行ったほか、どじょうすくい踊りや銭太鼓、あやとりなどの日本の文化も体験。4日間の滞在はあっという間で、最終日は抱き合って別れを惜しんでいました。

守山初等学校の児童の一人は、「みんなとても親切。友だちに会いにまた来たい」と話していました。



長なわとびなどで交流。前列左より2・4・6人目が守山初等学校の児童。

決勝戦を15・14で競り勝ち、初優勝を成し遂げた長島選手。

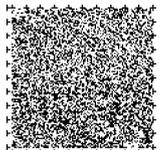


## 長島選手 インカレ初優勝

11月11日、嬉しいニュースが届きました。

フェンシング競技で世界を舞台に活躍している、安来市出身の長島徳幸選手（法政大2年）が、インカレ（全日本学生選手権）の男子個人フルーレの部で見事優勝しました。島根県出身のフェンシング選手で、インカレ個人優勝を成し遂げたのは、2回のオリンピックに出場した金津義彦選手をはじめ過去4人で、22年ぶり5人目。特に選手層が厚く、世界的にも上位入賞の実績を持つフルーレ種目での優勝は初めてです。

益々強さを増していく長島徳幸選手、東京オリンピックを目指し、今後も頑張ってもらいたいものです。



## 荒島地区活性協が20周年



荒島地区活性化推進協議会が作製した、地区の古墳群や偉人を紹介した小冊子。

荒島地区の住民有志ら約700人で組織する同地区活性化推進協議会（大槻嘉光会長）の創立20周年式典が11月17日、荒島交流センターで開催されました。

協議会は、平成5年に地区の各所に存在する国史跡などの古墳群が、古代出雲王陵の丘古墳公園として整備されたのを機に創立。住みよい地域づくりを目指し、さまざまな活動を行ってきました。式典では、平成16年から地域間交流を続けている、東藤島地区まちづくり推進協議会（福井市）の天谷会長ら4人もかけつけ、両地区の交流促進や荒島地区の地域づくりへの貢献について決意を新たにしました。

また、同協議会が創立20周年を記念して作製した、地区内の古墳や郷土の発展に尽力した偉人を分かりやすく解説した小冊子のお披露目も行われました。

## 障がい者の力を集う

市民や市内の福祉事業所を利用する障がいのあつる人の、日ごろの活動や趣味などで制作した作品を紹介する「第5回障がい者ふれあい作品展」が12月6日から4日間、和鋼博物館で開催されました。

作品展は、障がい者への理解と関心を高めることを目的とした障がい者週間（12月3日～9日）にあわせて企画。会場には、花・野菜などを描いた油絵や塗り絵のほか、色紙を用いたクリスマスリーフ、割り箸工芸など45点が並びました。感性豊かで丁寧に手掛けられた作品は、来場者を楽しませていました。

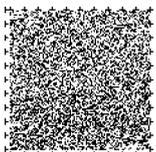


あんなこと、こんなこと

地域の話題をお届けします。

皆さまからの情報も、

お待ちしております。



秘書課 TEL23-3010





史跡・月山富田城跡を巡る参加者。

## 秋の伝統文化 青喫

「第2回安来・月山戦国ロマンウォーク」が11月16日に開催され、約400人が紅葉に彩られた戦国大名尼子氏ゆかりの地を歩きました。

コースは、安来節演芸館を発着点に、尼子氏が本拠を構えた月山富田城跡や城下町広瀬のまち並みを巡る約10<sup>キロ</sup>。途中、月山中腹の山中御殿では、富田城に関する歴史講話や尼子鉄砲隊による演武があり、また各所に甲冑姿のスタッフを配置するなど、参加者を戦国ロマンへいざないました。

鳥取県琴浦町から参加した祇園美穂さんは、「近くにこんなすごいお城があったとは知らなかった」と、驚いた様子で話していました。

## 宝くじ助成金で防災資機材の購入

飯梨地区の9自治会で構成する飯梨地区自主防災組織が、地域防災力向上のため、宝くじ助成金（財自治総合センターのコミュニティ助成事業）を活用して、防災資機材一式を購入しました。

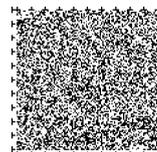
資機材は、ヘルメットやテント、AED（自動体外式除細動器）など全30品。プロジェクターやホワイトボードもあり、講習会などを開催して地区住民の防災意識向上に役立てていく予定です。同地区は、高齢者世帯が多い上、7月の豪雨災害では、区内を流れる田頼川がはんらんするなど、自主防災組織の役割はますます重要となっており、新たな資機材は防災活動の大きな一助となりそうです。



## 情報科学高校の生徒が商品を厳選して販売する「情報デパート」大盛況

情報科学高校の生徒が商品を厳選して販売する「情報デパート」が11月30日と12月1日の2日間、同校の体育館などで行われ、全国の専門高校で実習製造された加工食品や、地元の特産品などを買い求める人でにぎわいました。

この催しは、生徒が商品選定から仕入れ交渉、陳列、販売までの一連のビジネス活動を実践する場として開催。企業について学ぶ授業を選択している3年生26人を中心に企画・運営されました。会場では、熱心な商品説明や、ていねいな接客もあり、自慢の品々が飛ぶように売られていました。



# 新着図書紹介



## 安来市立図書館

Tel 22-2574

潜航せよ	福田和代
月と太陽	瀬名秀明
燃える家	田中慎弥
イン・ザ・ヘブン	新井素子
まほろ駅前狂騒曲	三浦しをん
探偵部への挑戦状	東川篤哉
独走	堂場瞬一

〈お子さんのほん〉

ぶたがとぶ	佐々木マキ
うみのしっぽ	内田麟太郎
おつきさんのぼうし	高木さんご
うまれたよ!コオロギ	中瀬 潤

## ひろせ図書室

Tel 32-4455

潮鳴り	葉室 麟
見えざる網	伊兼源太郎
ガンコロリン	海堂 尊
色づかいで人を見抜く	カラー
読心術	河野万里子
タタラと型でつくる食器	神田慎一

〈お子さんのほん〉

つんつくせんせいとまほうの	
じゅうたん	たかどのほうこ
やじるし	平田利之

●そのほかの新着図書情報は…<http://www.city.yasugi.shimane.jp/tosyo/>

## はくた図書室

Tel 37-0050

新しいお伊勢参り	井上宏生
笑うアコーディオン	横森良造
楽天イーグルス優勝への32	
51日	山村宏樹
スナックちどり	よしもとばなな
ヒカルの卵	森沢明夫
ルリュール	村山早紀

〈お子さんのほん〉

池上彰の憲法入門	池上 彰
ふたり	福田隆浩
おさかないちば	加藤休三

## 町少年消防クラブ表彰



十神小学校で行われた感謝状贈呈式の様子。

火災予防の一環として、新町少年消防クラブが行っている少年夜警活動は、昭和49年から始まっており、約40年にわたり受け継がれています。

このたび、長年にわたり地域で火災予防を呼び掛けてきた活動に対し、安来市消防本部消防長から同クラブに感謝状が贈られました。

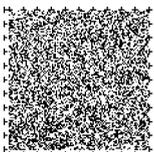
消防本部では、新町少年消防クラブの活動に対し、ほかの地域でも同様の取り組みが芽吹いてくれればと、期待を寄せています。

## 消防士体験で防災意識新たに

秋の火災予防週間にあわせ、市民に防災意識を高めてもらおうと11月14日、消防本部で「一日消防士」を実施しました。

一日消防士を務めたのは、市内の医療機関に勤務する、細田雅彦さん、遠藤美樹さん、渡部由佳さん、藤原学さん、平井翔子さんの5人。消防制服を着用し、消防業務の概要などについて講義を受けた後、救助器具の操作や消火器の取り扱い、放水訓練、はしご車への搭乗など、消防士の仕事を体験しました。

参加者からは、「病院でも避難訓練や消火訓練がありますが、消火器を使うのは初めて」という声も。体験を通じて初期消火の大切さに対する認識を新たにしました。





# 行政

年末年始の市役所・市関連施設の休業日等

詳しくは、市のホームページまたは先月号の広報紙23ページでご確認いただくか、各施設に直接お問い合わせください。

## ●市役所各庁舎の休業日

問 総務課 TEL 23・3017

休業日 12月28日(土)～1月5日(日) (休業期間中は宿直対応。問い合わせ先は、次のとおりです)

- ▽安来市庁 TEL 23・3000
- ▽広瀬市庁 TEL 23・3200
- ▽伯太市庁 TEL 23・3300
- ▽水道市庁 TEL 23・2020



## 税務署からのお知らせ 税務職員を装った 不審電話にご注意ください

国税庁や税務署の職員を名乗り、アンケートや年金受給調査と称して、年齢や家族構成、年金の受給状況、口座情報などの個人情報聞き出そうとする事例が発生しています。

このような不審な電話があった場合は、決して個人情報などを教えないようご注意くださいとともに、松江税務署にお知らせください。

### 問 松江税務署

TEL 0852-21-7711

※音声ガイダンスに従い「2」番を選択してください。

## 平成25年分公的年金等の源泉徴収票が送付されます

### 問 松江年金事務所

TEL 0852・26・2800

保険年金課 TEL 23・3086

平成25年中に厚生年金や国民年金などの老齢または退職を支給事由とする年金を受けた人を対象に、平成25年分として支払われた年金の金額や源泉徴収された所得税額などをお知らせする源泉徴収票を、日本年金機構からお送りします。所得税の確定申告の際に必要なとなりますので、大切に保管してください。  
送付時期 平成26年1月中旬。



取扱時間 8時30分～17時

※観光交流プラザ内の行政サービスコーナー（JR安来駅隣接・TEL 23・7667）では、12月31日と1月1日の休業日を除いて、次の業務を行っています。

取扱業務 ▽住民票・印鑑証明書、イエローパスの定期（回数）券の即日交付  
▽戸籍謄抄本・所得（課税）証明書の取り次ぎ（申請書を受けて後日交付します）

## 平成26年 安来市消防出初式

防火・防災への誓いを新たに  
挙行します。

日時・場所 1月12日(日)

- ▷式典…10時～、安来市民会館
- ▷通常点検・機械器具点検・一斉放水  
…11時15分ごろ～、安来港ふ頭



あなたのチカラをお貸しください

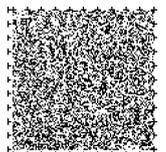
## 消防団員を募集しています



安来市消防団では、男性団員・女性団員を募集しています。住民の皆さんの安心安全を守るため、若い力を募集します。



問 消防総務課 TEL 23-3410



## 不動産鑑定士による宅地調査にご協力をお願いします

### 問 税務課（固定資産税）

TEL 23・3049

現在、市では平成27年度に実施する固定資産税評価替えの準備作業として、不動産鑑定士に委託して宅地の鑑定を行っています。現地調査の際、鑑定士からの質問などがありましたらご協力をお願いします。  
※固定資産税は、国が定める基準により不動産鑑定士が行う鑑定評価に基づいて、3年ごとに評価額を見

直すことになっていきます。調査期間 平成26年3月24日まで。

その他 鑑定を委託した不動産鑑定士は、市が発行する証明書を所持しています。

## 「松江圏都市計画下水道事業計画変更」原案の説明会を開催します

問 下水道課 TEL 23・3108

南十神地内の浸水対策を図るため、事業計画を変更する原案を説明します。

日時・場所 1月16日(木) 時、安来中央

庁舎

保健センター

申し込み

地域センター

交流センター

問い合わせ

## 平成26年度保育所（園）入所に関する 保護者面接を実施します



入所（園）資格の適正な審査を行うため、  
家庭状況などの確認を目的に行います。

- 面接対象者**
- ①初めて入所（園）を希望する人  
※新規入所児の兄・姉が継続入所希望である場合を含む。
  - ②保育の理由が「⑦その他（求職中を含む）」の人

**面接日程** 第1希望の保育所（園）へ次の日程のとおりお越しください。  
※事前の通知はいたしません。  
・面接時間は13時30分～15時  
（受付時間は13時～14時30分）

- ▷ 1月14日(火)…やすぎ保育園、安来保育所
- ▷ 1月15日(水)…みゆき保育園
- ▷ 1月16日(木)…ふたば保育園
- ▷ 1月17日(金)…ひろせ保育園、広瀬保育所
- ▷ 1月20日(月)…赤江保育所、大塚保育所
- ▷ 1月21日(火)…飯梨保育所、荒島保育所
- ▷ 1月22日(水)…切川保育所、  
城谷保育所（会場は社日<sup>交</sup>）
- ▷ 1月23日(木)…安田保育所、井尻保育所
- ▷ 1月24日(金)…母里保育所、赤屋保育所
- ▷ 1月27日(月)…布部保育所、比田愛育園
- ▷ 1月28日(火)…あゆみ保育園（会場は島田<sup>交</sup>）

### 注意事項

- ・日程の都合がつかない場合は、子ども未来課まで事前にご連絡ください。
- ・継続入所を希望する人で、上記「面接対象者の②」以外の方は、原則面接を行いませんが、市が「面接が必要」と判断したときは、別途連絡をします。

**問**子ども未来課 TEL 23 - 3214



少林浩道委員



岸田薫委員長

● **新任**  
▽委員…少林浩道氏（11月9日付。任期は平成29年11月8日まで）

▽委員長職務代理者…川崎登氏（11月9日付。旧任は委員長）

● **異動**  
▽委員長…岸田薫氏（11月9日付。旧任は委員）

● **退任（任期満了）**  
岩田幸子氏（11月8日付、旧任は、委員長職務代理者）

● **安来市教育委員の異動**  
問 教育総務課 TEL 23 - 3326

縦覧期間中に意見書を提出することができません。（意見書の様式は任意ですが、住所・氏名を必ず明記してください）  
提出先 都市計画課

## ごみ収集カレンダーなどに掲載する事業広告の募集

平成26年度版の「安来市ごみ収集カレンダー」および、「安来市分別の手引き」（平成26年2月作成予定）に掲載する事業広告を募集します。

いずれも作成後は、各自治会等を通して配布します。詳しくは、環境政策課または市のホームページでご確認ください。

**申込期限** いずれも1月10日(金)まで（必着）

## ●平成26年度安来市ごみ収集カレンダー

● **問**環境政策課  
TEL 23 - 3100

対象 事業者（広告代理店を含む）

**広告枠・掲載料（1枠）**  
縦5×横11センチメートル、3万1500円（税込）

※募集する枠数は6枠。

● **安来市分別の手引き**  
● **問**環境政策課  
TEL 23 - 3102

対象 市内の事業者（広告代理店を含む）

## 広告枠・掲載料（1枠）

縦4×横9センチメートル、5万2500円（税込）  
※募集する枠数は8枠。

## 「平成25年度ごみ収集日カレンダー」の訂正について

● **問**環境政策課 TEL 23 - 3100  
ごみ収集日カレンダーのB地区（燃やすごみの収集が火・金曜日の地域）の内容に、一部誤りがありました。お詫びして訂正します。

訂正箇所 1月31日(金)の欄  
訂正内容 空欄となっていた。

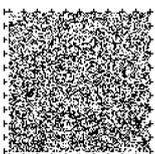
ますが、通常どおり燃やすごみを収集します。

## 「広瀬都市計画公園の区域変更」原案の縦覧について

● **問**都市計画課 TEL 23 - 3240  
広瀬中央公園の都市計画公園区域を変更するための原案をご覧いただけます。

縦覧期間・場所 1月6日(木)～1月20日(月)、都市計画課（広瀬<sup>庁</sup>3階）

意見書の提出 安来市民および利害関係人で、この案について意見のある人は、



皆様のご意見を募集します（パブリックコメントの実施）



市が保有する「要援護者」の個人情報  
地域に提供するための条例整備について

災害などの緊急事態に備え、地域において日ごろから支え合う関係づくりを進めるために、市が保有する「支援が必要な人（要援護者）」の情報を地域に提供するための条例を整備します。

地域においてさまざまな「見守り活動」の取り組みが行われていますが、これまでの取り組みでは要援護者の把握が必ずしも十分ではなく、市からのさらなる情報提供が必要であるという声をいただいていた。

このため、支援を必要とするすべての人が、安心した生活が送れるように、市が要援護者となり得る人の全体像が把握できる「見守り名簿」を新たに作成し、関係機関へ情報提供することについて検討しています。

現在、対象となる人の個人情報の提供ができるよう、根拠となる条例の整備を進めています。この条例（案）の概要について、市民の皆さんからご意見を募集します。

条例（案）の概要※骨子

提供する個人情報	氏名、住所、年齢、性別
見守り名簿の対象者（要援護者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・70歳以上の一人暮らし、または高齢者のみの世帯の人。</li> </ul> <p>次の人は、本人の同意を得た場合に限り対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険要介護認定3以上で、居宅で生活をしている人。</li> <li>・19歳以上の身体障害者手帳1～2級または第1種所持者で、居宅で生活をしている人。</li> <li>・19歳以上の療育手帳A所持者で、居宅で生活をしている人。</li> <li>・その他、特に市長が認める人。</li> </ul>
提供先	民生委員・児童委員、安来市社会福祉協議会、安来市自主防災組織認定要綱により認定を受けた自主防災組織、消防署、警察署

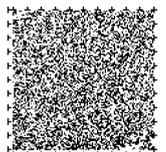
※条例（案）の概要は、市のホームページおよび、福祉課（広瀬⑤）・市民課④窓口（安来⑦）・伯太⑧（伯太⑧）でご覧いただけます。

募集期間 12月20日（金）～1月15日（水）

提出方法 住所・氏名・連絡先を明記の上、郵送・FAX・電子メールなどによりお寄せください。

提出先・問 安来市福祉課 〒692-0404 安来市広瀬町広瀬703  
TEL 23-3216 / Fax 23-3281  
メールアドレス：shougai@city.yasugi.shimane.jp

※ご意見はパブリックコメント以外の目的には使用しません。  
※個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。  
※意見の概要とそれに対する市の考え方をまとめ、後日公表する予定です。（住所、氏名などの公表はいたしません）



平成25・26年度入札参加資格審査申請の追加受付  
⑤問 管財課 TEL 23・3030  
市では、建設工事および、測量、建設コンサルタント業務などについて、入札参加資格審査申請書の追加受付を予定しています。

この申請は、安来市水道事業および、安来市病院事業への申請を兼ねます。  
詳しくは、管財課または市のホームページでご確認ください。  
受付期間 1月7日（火）～1月31日（金）

「しまね版特区」申請受付  
⑤問 島根県しまね暮らし推進課  
TEL 0852・22・5065  
地域の活性化のため取り組みもつとれている事業が、さまざまな規制により実施が困難なときに、規制の特

例措置を設けることによつてその実現を図る制度です。  
NPO、住民グループ、民間企業など、どなたでも申請できます。  
受付期間 1月17日（金）～1月31日（金）

家に帰ったら  
手洗い・うがいを！



- 庁舎
- 保健センター
- 申し込み
- 地域センター
- 交流センター
- 問い合わせ

## UIターン者対象の公立学校臨時的任用教員等を募集します

### ① 島根県義務教育課

TEL 0852・22・5422

**募集内容** 平成26年度に県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校に勤務する常勤・非常勤の講師など。

### 免許資格要件

▽小・中学校、高等学校：該当校種の普通免許状を所有していること  
▽特別支援学校：盲学校、聾学校、養護学校または特別支援学校の教諭の普通免許状を所有するとともに、小学校、中学校または高等学校の教諭の普通免許状を所有していること  
▽養護助教諭：養護教諭の普通免許状を所有していること。

**応募期限** 1月7日(火)

その他 教員としての勤務経験は不問です。

## ふくしの職場 就職準備研修(無料)

### ② 島根県福祉人材センター

TEL 0852・32・5957

福祉職場への就職希望者や福祉職場に関心のある人

を対象に、福祉サービス事業所の採用担当者による面接相談など、就職に関する相談、情報提供を行います。

**日時** 2月2日(日)12時30分～16時30分

**場所** くにびきメッセ

## 福祉・介護の就職準備応援セミナー(無料・要申込)

### ③ 島根県福祉人材センター

TEL 0852・32・5957

福祉・介護分野での就職希望者や就職内定者を対象に開催。福祉職場で働くにあたって必要なマナーやコミュニケーション力、介護技術の基本を、就職前にもう一度学んでみませんか。

**期日** ▽A日程(マナー講習等)：3月5日(水) ▽B日程(介護技術講習)：3月6日(木)～3月7日(金)

**場所** いきいきプラザ島根(松江市東津田町)

**定員** ▽A日程：40人 ▽B日程：20人。(各先着順)

**申込期限** 2月28日(金)

その他 参加条件など、詳しくはお問い合わせください。

# 保健

## 乳幼児健診

### ④ 子ども未来課

TEL 23・3222

※時間は受付時間です。

### ● 4か月児健診

**日時・場所** 1月9日(木)13時～13時45分、広瀬

**対象** 平成25年8月生まれのお子さん。

**持ち物** 母子健康手帳、アンケート。

### ● 9か月児健診

**日時・場所** 1月9日(木)9時～9時45分、広瀬

**対象** 平成25年3月生まれのお子さん。

**持ち物** 母子健康手帳。

### ● 1歳6か月児健診

**日時・場所** 1月23日(木)9時～9時45分、伯太

**対象** 平成24年6月生まれのお子さん。

**持ち物** 母子健康手帳、アンケート。

### ● 3歳児健診

**日時・場所** 1月23日(木)13時～13時45分、伯太

**対象** 平成22年10月生まれのお子さん。

**持ち物** 母子健康手帳、アンケート、歯ブラシ、当日朝の尿。

### BCG接種

**⑤ 子ども未来課**

TEL 23・3222

**日時** 1月15日(水)13時15分～13時45分(受付時間)

**場所** 広瀬

**対象** 平成25年7月生まれのお子さん。

**持ち物** 母子健康手帳、予防接種予診票。

## 離乳食教室(要申込)

**⑥ 子ども未来課**

TEL 23・3222

**日時** 1月21日(火)▽5～6カ月児：9時45分～10時

▽7～8カ月児：13時30分～13時45分(受付時間)

**場所** 広瀬

子育て支援センター主催のイベント(要申込)

### ⑦ 子ども未来課

TEL 23・3222

子育て支援講演会「助産師さんによる卒乳のお話」

**日時・場所** 1月14日(火)10時30分～12時、広瀬

● 親子で楽しくミュージック・ケア(要申込)

音楽に合わせて踊ったり、歌ったり、楽器やバルーンを使って親子で音遊びを楽しみましょう。

**日時・場所** 1月28日(火)10時30分～12時、広瀬

## フッ化物塗布研修会

(無料・託児あり・要申込)

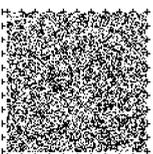
**⑧ 島根県歯科衛生士会**

TEL 080・6308・9240

**日時・場所** 2月6日(木)14時～16時、ビッグハート出雲(出雲市駅南町)

● フッ化物塗布のお手伝いをしていただける歯科衛生士を探しています

歯科現場から離れている人や新人さんなど、この機会にフッ化物塗布について学び活躍しませんか。



# 教室・講座

**安来市学習訓練センター主催の教室など**

**① 安来市学習訓練センター**  
TEL 23・1750

いずれも同センターを会場に開催します。

● **パソコンなんでも相談日**  
ちよつと聞きたい小さな疑問の解決方法教えます。操作全般の質問も対応可。

日時 1月6日(月)・20日(月)・27日(月)10時～12時

受講料 1回500円。

その他 ▼パソコン持込可  
▼申込不要。

## 基礎を学ぼう!

## 生活習慣病 予防教室



地域で健康づくりのため活動しているボランティア「安来市食生活改善推進員」と一緒に、生活習慣病の基礎学習や手軽にできる調理実習などをしませんか。

日時 2月7日(金)10時～13時30分

場所 安来中央☒

内容 ・講話(食事バランス、薄味や塩分を控える食べ方の工夫などの生活習慣病予防、ロコモ予防について)  
※ロコモ(運動器症候群)…老化などにより、運動機能が衰え要介護になる危険性の高い状態。  
・減塩みそ汁の試飲で薄味体験  
・調理実習(簡単にできる薄味でもおいしい料理)

参加費 500円

持ち物 筆記用具、エプロン、三角巾

申込期限 1月20日(月)

① いきいき健康課 TEL 23-3220  
(安来市食生活改善推進協議会事務局)

● **パソコン個人指導**

分らないことがマンツーマンで集中的に学べ、自分のペースで進めることができます。(1回2時間)

受講料 3000円。

その他 ▼受講日時は事前にご相談ください。▼パソコン、デジカメなど持込可。

● **パソコン教室「ワード初級コース」**

日時 1月22日(水)・24日(金)・29日(水)・31日(金)(4日間)

9時30分～12時30分

受講料 5000円(テキスト代別途1000円)

その他 ▼一人で入力でき

る人が対象 ▼定員15人(5人以上で開講) ▼要申込  
▼パソコンの持込不要。

## 相談

しまね東部若者サポートステーション出張相談  
(無料・要予約)

① サポステ松江  
TEL 0852・33・7710

日時・場所 1月9日(木)11時～16時、安来中央☒

対象 おおむね15歳～40歳の人または、家族・保護者。

内容 就労、社会と関わりについての悩みなど。

申込期限 1月7日(火)

心の健康相談(無料・要予約)

① 松江保健所  
TEL 0852・23・1316

福祉課 TEL 23・3216

日時・場所 ▼1月9日(木)・17日(金)・30日(木)13時30分～15時30分、松江保健所

▼1月29日(水)13時30分～15時30分、安来中央☒

内容 心の病気や悩み、飲酒問題、もの忘れなど。

法務局なんでも相談所  
(無料・予約不要)

① 松江地方法務局  
TEL 0852・32・4200

日時・場所 1月16日(木)17時30分～20時、松江テルサ

4階(JR松江駅前)

相談内容 相続、遺言、売買などの登記や会社設立、土地の境界問題、家庭内のもめごと、近隣関係のトラブル、戸籍の問題や国籍の取得、任意後見契約など。

各種定期相談は市民カレンダーでご確認ください

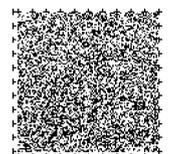
相談時間と問い合わせ先は次のとおりです。

生活相談 ▼安来会場：9時～16時、広瀬会場：13時

生活相談 ▼安来会場：9時～16時、広瀬会場：13時



イベント情報 QRコード



～16時、伯太会場：10時～15時 ▼社会福祉協議会 TEL 23・1855

消費者問題弁護士相談 ▼9時～12時 ▼市民相談室 TEL 23・3068

行政相談所 ▼9時～12時 ▼市民相談室 TEL 23・3068

特設人権相談所 ▼9時～12時 ▼人権施策推進課 TEL 23・3095

栄養相談(要予約) ▼安来会場 9時30分～17時、広瀬会場 9時～12時 ▼いき

いき健康課 TEL 23・3220

## イベント

第11回宇賀荘寒椿展

① 宇賀荘 ☒ TEL 23・0721

地元のツバキや珍しい品種など多彩に展示します。

(椿苗や椿油の即売、あまがゆなどのサービスあり)

日時 1月17日(金)～1月19日(日)9時～17時

場所 宇賀荘☒



庁舎 保健センター 申し込み  
 地域センター 交流センター 問い合わせ

第16回安来市小中学校  
 特別支援学級合同作品展  
 ふれあい広場



日時 1月31日(金)～2月3日(月)  
 10時～18時  
 (3日は13時まで)  
 場所 プラナーナ2階  
 内容 児童・生徒の作品展示、  
 通級指導教室紹介など。  
 問 能義小学校・松本  
 TEL 22-2854

米子高専建築学科2013  
 デザコン優秀作品展示会  
 問 やすぎ懐古館一風亭  
 TEL 23-0007  
 今年度、米子市で開催さ  
 れた「全国高専デザコン」  
 で入賞した、米子高等専門  
 学校の作品(ポスター7作  
 品)および建築模型を展示  
 します。(米子や安来の身  
 近な商店街をテーマにした  
 作品もあります)  
 ※デザコン(全国高等専門  
 学校デザインコンペティ  
 ション)とは、生活環境に  
 関連したさまざまな設計課  
 題に対して、全国の高専生  
 が集い競技する大会です。  
 日時 1月4日(土)～3月3  
 日(月)  
 場所 やすぎ懐古館一風亭

第8回安来市民ソフトバ  
 レーボール大会参加募集  
 問 安来市体育協会(市民  
 体育館内) TEL 23-1923  
 (FAX兼用)  
 日時 2月16日(日)9時～  
 場所 伯太体育館  
 チーム編成 男女混合(男  
 2人・女2人) ※コート内  
 に市内に在住(在勤)する  
 人が2人以上いること。  
 部門 ▽ブロンズの部(4  
 人の合計年齢が170歳以  
 上。最低年齢者は35歳以上)  
 ▽フリーの部(18歳以上年  
 齢制限なし)  
 ※年齢は平成26年2月1日  
 時点。  
 参加費 1チーム3千円。  
 申込期限 2月5日(水)

企画展「隠岐之国～島々の  
 歴史と文化～」

問 古代出雲歴史博物館  
 TEL 0853-53-8600  
 会期 12月27日(金)～2月23  
 日(日)9時～17時(1月21日  
 (火)・2月18日(火)は休館)  
 場所 島根県立古代出雲歴  
 史博物館(出雲市大社町)  
 観覧料 ▽一般:400円  
 ▽大学生:200円 ▽高  
 校生以下:100円。  
 その他 障がい者手帳保持  
 者およびその介助者1人は  
 無料。

その他

第一中学校新校舎見学会  
 問 安来第一中学校  
 TEL 22-2250  
 日時 1月26日(日)12時～16  
 時  
 場所 安来第一中学校  
 その他 新校舎正面玄関か  
 らお入りください。

しまね19市町リレートーク(安来会場)

～テーマ「観光まちづくりと住民参加」～

日時 2月16日(日)17時～19時  
 場所 安来節演芸館ホール  
 内容 ①講演「観光まちづくりと住民参加」  
 観光規模が安来市と類似している津和野町  
 の戦略や取り組みを紹介します。  
 ・講師…(一社)津和野町観光協会事務局長  
 齊藤謙一氏。  
 ②市内の団体による事例発表  
 地域が誇る観光資源を、住民一体となっ  
 て継続的に発展させていく手法を考えます。  
 定員 100人(要申込※先着順。入場無料)



問 山陰中央新報地域振興局「リレートーク係」

TEL 0852-32-3368  
 ホームページ <http://www.sanin-chuo.co.jp/talk/>  
 ※神々の国実行委員会主催。

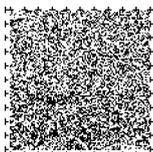
展示案内 名碗 - 名工の技 -

会期 平成26年4月7日まで(開催中)  
 10時～16時30分  
 ※入館は16時まで。  
 ※12月25日(水)～1月10日(金)、  
 4月1日は休館日。  
 場所 安来市加納美術館  
 内容 樂長次郎から人間国宝などの名  
 碗50点  
 ※同時展示「日本画 池田<sup>ようせん</sup>遙展」  
 入館料 ・一般1000円(団体料金あり)  
 ・学生500円(高校生以上)



※障がい者手帳をお  
 持ちの人、中学生  
 以下の人は無料。

問 安来市加納美術館  
 TEL 36-0880





# あらエッサくん 観音様のお告げの巻

石田行生



## 「弁慶」の誕生伝説

へいあんじだいまなもとのよしつねけらいひとなはずかいりき  
平安時代、源義経の家来として、人並み外れた怪力で活躍した武蔵坊弁慶。日本各地に多くの伝説が残っていますが、安来にも弁慶の誕生にちなんだ言い伝えがあります。

おかしきいのくにげんざいわかやまけんべんきちめ  
その昔、紀伊国(現在の和歌山県)に、弁吉女という大柄でたくましい女性がいました。弁吉女は、年ごろになってもなかなか結婚相手が見つからず、心配した両親は、「出雲国の縁結びの神様に、結婚できるようお祈りしてきなさい」と言って、弁吉女を出雲国へ向かわせました。

いはるたびいいなしのざとしいなしちくあた  
はるばる旅をして、飯梨郷(飯梨地区の辺り)の出雲路幸神社にたどり着いた弁吉女は、ここで七日七晩お祈りしました。七日目の夜、疲れた弁吉女は、神社の前でうとうと眠ってしまいました。すると、夢の中に神様が現れ、「弁吉女よ、おまえの望みを叶えてやろう。ここを出て最初に会う男と一緒にいるがいい」と言い残したのです。

ゆめからさめたべんきちめふしぎおも  
夢から覚めた弁吉女は、不思議に思いながらも神社を出ると、一人のたくましい若者に出会いました。なんと、この若者も神様のお告げにより、歩いてきたというのです。二人はすぐに恋に落ち、夫婦となることに決めました。ほどなくして二人の間には子どもが生まれました。この子どもこそが、後の弁慶と伝えられています。

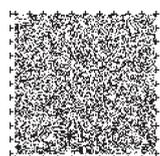


### やすぎ再発見

#### 出雲路幸神社(西松井町)

飯梨川に架かる能義大橋の西側のたもとに、昔さんぽに登場した出雲路幸神社があります。当時は山陰道の街道沿いで、現在の場所よりも西方にあったとされ、道行く人が度々足を運んでいたと言われてい

ます。また、境内には弁慶ゆかりの岩があり、赤子のころの足跡とされるくぼみが残っています。弁慶を産んだ弁吉女が、お礼参りで訪れた際に付いたとされ、弁慶伝説を現在に伝えてい



出雲路幸神社。右手にあるのが弁慶岩。

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています●
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください●
- 自治会宛の発送等につきましては、市民参画課(TEL23-3067)までご連絡ください●

